

飯山市における出川照岡砂防堰堤の完成

～市民生活，地域を守る砂防堰堤に感謝して～

■ 足 立 正 則* ■

○自治体紹介

飯山市は長野県の最北に位置し、千曲川沿いに広がる盆地を中心に周辺を山々に囲まれた日本有数の豪雪地帯として知られ、厳しい自然があるが故に四季の彩りが増し、美しい自然が今も保たれています。飯山に遅い春を告げる桜や菜の花、ブナの森の芽吹き、深緑へ移る夏、自然の恵みに抱かれる秋、そして一面の銀世界の冬と1年を通して自然を楽しむことができます。また、江戸時代から続く寺町文化、雪国らしい連帯と協調の精神、名僧正受老人の正受庵をはじめとする寺社景観、斑尾高原、戸狩などのスキー場、千曲川、北竜湖などの自然景観とあわせて、日本のふるさとに相応しい豊かな風土と魅力を創りだしています。

平成27年3月に北陸新幹線飯山駅が開業し、東京から最速で1時間41分、金沢まで1時間15分で直結する地域となりました。このようなこともあって、飯山市を身近に感じていただけるようになり、昨年は市の移住相談窓口を通じて、過去最高の人数113名の方が飯山市へ移住されました。

スキーシーズンにはオーストラリア、ヨーロッパをはじめアジア圏からも大変多くの観光客が新幹線を利用して来られています。

大都市圏からのアクセスの良さ、この豊かな自



然環境・地域資源が併存する地域としての特色、魅力を活かしながら住む人も訪れる人もその良さが実感できる飯山市の実現を目指して邁進しているところです。

○災害の発生とその後の対応

平成29年5月19日早朝、当市照岡の井出川の上流で、大規模な崩落（幅約150m、長さ約500m）が発生しました。翌20日には、既設の桑名川砂防堰堤（高さ14m、幅52m、計画捕捉土砂量42,990m³）に流下した土砂が堆積していたため、堰堤下流に大型土のうと大型ブロックを設置するなど応急対策に着手するとともに、10世帯26人に避難勧告を発令しました。21日は、監視システムを整備、22日には6回も土石流が集中して発生したため、避難勧告を指示に切り替え住民の安全を図りました。その後、避難指示を一部勧告に切り替えるなど、10月に恒久対策に着手したことなどを考慮して11月20日には避難勧告を解除しました（表-1参照）。

災害発生時から、二十四時間体制で昼夜を問わず懸命に警戒、監視作業の任務を果たされた消防、警察署員、市役所職員、消防団の皆様、建設業会並びに地元の皆様の活躍は、大変心強いものでした。とりわけ国並びに県ご当局におかれては、災害発生後、直ちにヘリコプター等による現地調査を実施

* Masanori Adachi 長野県飯山市長

災害発生からの経過

平成29年

- 5/19 **井出川上流の山腹崩落が発生**
(幅約150m長さ約500m)
- 5/20 既設砂防えん堤に徐々に土砂が堆積、応急対策着手
避難勧告 (対象：10世帯26人)
- 5/21 監視システムの運用開始
- 5/22 断続的に土石流が発生
避難指示 (対象：10世帯26人)
- 5/23 避難指示を一部解除 (5世帯10人避難指示継続)
- 5/25 避難指示を一部解除 (4世帯14人避難指示継続)
- 6/23 **避難指示を解除・避難勧告に切り替え**
- 10月～ 恒久対策に着手 (砂防えん堤工、除石工)
- 11/20 **避難勧告を解除**
- 12/28 応急対策事業完了
- ・土石流監視システム運用
 - ・鋼製牛栓4基設置
 - ・堤防かさ上げ工実施
 - ・リングネット工の設置
 - ・ブロックえん堤工

平成30年

11/27 **出川照岡砂防えん堤完成**

表－1

していただき、迅速に応急対策を進めていただくとともに、さらには、格段のご高配を賜りまして、すぐさま恒久対策として新たな砂防堰堤や治山事業等の関連工事に着手をいただきました（図－1）。

○災害から約1年半で新砂防堰堤の完成へ

昨年の平成30年11月27日に、実行委員会の主催により、井出川山腹崩落災害対策に伴う出川照岡砂防堰堤の完成式並びに完成祝賀会を開催し、国土交通省水管理・国土保全局砂防施設評価分析官の石塚忠範様、太田昌孝衆議院議員秘書の藤田正純様、羽田雄一郎参議院議員秘書の斉藤浩司様、武田良介参議院議員秘書の前沢光昭様、前衆議院議員の小松裕様、前参議院議員の若林健太様、北陸地方整備局河川部長の松原誠様はじめ国の幹部の皆様方、並びに地元選出の県議会議員、宮本衡司先生はじめ県議会議員の先生方、長野県建設部長の長谷川朋弘様、ご来賓の皆様多数にご臨席をいただきました（写真－1、2）。



図－1



写真－1 出川照岡砂防堰堤（地図⑤）
透過型堰堤（高さ13m，幅91.5m）

当日の完成祝賀会場内では、出席された皆様に災害当時の映像をご覧いただきました。融雪を起因とし平成29年5月19日に発生した井出川上流の大規模な崩落は、飯山市においても今までで最大級規模の土砂崩落災害であり、自然災害の恐ろしさを、まさしく実感させられた災害でありました。山腹崩落により六度の土石流が発生したのにもかかわらず、井出川下流部に整備されていた桑名川砂防堰堤が土砂及び立木を捕捉し、下流地区の人家、鉄道や県道等を1次被害から守りました。砂防堰堤というインフラは、地域を自然災害から守る極めて重要な施設であると、あらためて認識するとともに、堰堤の設置をして頂いた先人への感謝の気持ちで一杯でありました。

災害発生から約1年半という極めて短い期間で、新砂防堰堤の完成を迎えられましたことに対しましては、地域住民を代表するとともに市長として、今でも心から感謝しているところです。

また、災害復旧に際しての国会議員、県会議員の先生方、国並びに県ご当局の熱意あるお取り組み、また、限られた工事期間内に無事工事を完成させられた工事関係者の皆様、さらには地権者、地元の皆様の深いご理解と惜しみないご協力に対しましても、心から敬意を表しますとともに深く感謝を申し上げます。

こうした関係する皆様方の格段のご支援とご尽力による新砂防堰堤の完成や千曲川の築堤、治山事業関連工事の推進は、地域の安心、安全につながるものと確信しているところです。

○おわりに

この度の出川照岡砂防堰堤の完成を機に、防災関連の事業がますます促進され、地域を守り、市民の生命と財産を守るハード・ソフト両面での防災・減災対策の更なる充実を図っていくため、飯山市といたしましても最大限努力してまいりますので、今回のこの寄稿にあたり、引き続き関係の皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



写真－2 テープカットの様子